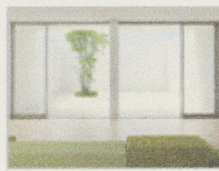


家族を守るための 防犯ガラス講座



現代の住宅における窓ガラス



現在、戸建て住宅における窓のサイズは年々拡大しつつある。これは昨今の窓枠を見せずにガラスのみを全面に押し出すデザイン性の流行と共に、住宅構造の進化に伴い、耐震性能が強化されたことにより、安心しておきな開口の窓を使用できるようになりました。

大きな窓から取り込む明るい日差しや自然の風はお住まいになる人にとって最高の快適空間となっています。





しかし、窓が大きくなればなるほど、ガラス面に発生する結露の心配や、防犯性能についての心配が増えたのも現実です。

結露については、二重構造の複層(ペア)ガラスにより断熱性を強化するのが定着化してきています。

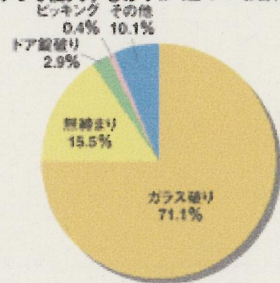


窓から住まいの健康と安全を
プロデュースする。



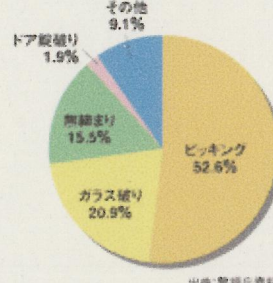
住宅への侵入方法

■どうやって侵入するか？(戸建ての場合)



出典:警視庁資料

(マンションの場合)



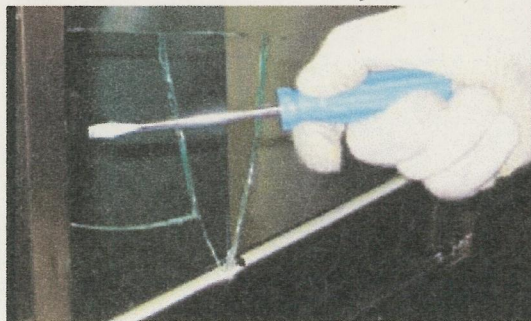
出典:警視庁資料

戸建て住宅とマンションでは侵入方法が異なります。出入り口が扉のみのマンションに対し、いくつもの出入り口を持つ戸建て住宅では『ガラス破り』が侵入方法として最も多い。そのため窓ガラスの強化が防犯対策として求められています。



侵入手口の70%

ガラス破り(こじ破り)



侵入手口の70%

ガラス破り(こじ破り)



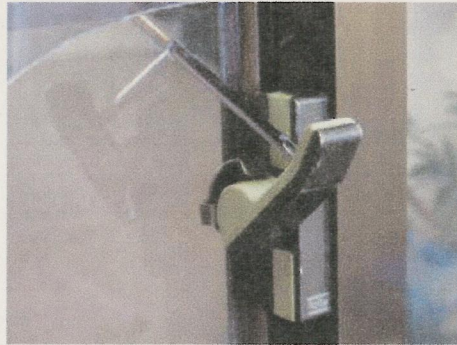
侵入手口の70%

ガラス破り(焼き破り)

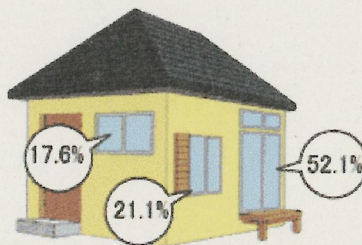


侵入手口の70%

ガラス破り(焼き破り)



戸建て住宅への侵入箇所

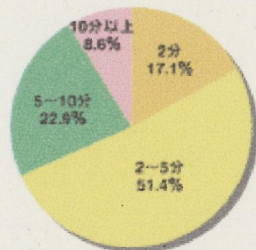


庭等に面したはきだし窓が最も多く狙われていますが、このほかに勝手口ドアのガラスを破っての侵入も多くみられます。これらの箇所はどれも外部からの見通しが悪く、また、ガラスさえ破れば容易に侵入できる箇所です。勝手口ドアについては、ガラスではなくドア腰部分のアルミパネルをカッターで破っての侵入も多く見られます。



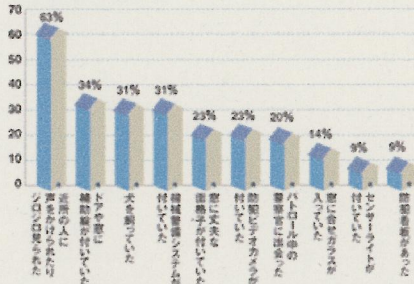
侵入をあきらめる時間

■侵入をあきらめる時間



出典：(財)都市防犯研究センター

■侵入をあきらめた理由

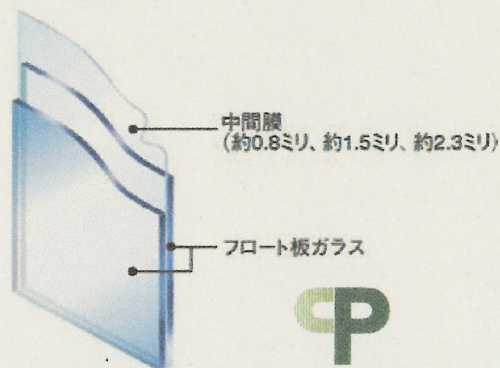


出典：(財)都市防犯研究センター

侵入盗の69%が、侵入に5分以上かかると侵入をあきらめます。その理由には時間をかけることにより近所の人に見られる可能性が高いことがあげられています。



防犯ガラスとは



2枚のガラス間に特殊樹脂膜をはさみ加熱圧着されたガラス。

防犯ガラス 4つの特性



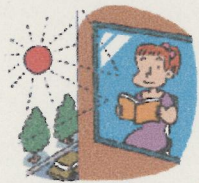
防犯性

特殊樹脂膜は耐貫通性に優れているためガラスが破損しても侵入しにくく、優れた防犯性を発揮します。



安全性

ガラスが破損した場合も、特殊樹脂膜とガラスが接着しているため、ガラスの破片が飛散・脱落しにくくなっています。



紫外線カット

特殊樹脂膜が紫外線を99%カットするため、室内にある物の褪色を防ぐことができます。



遮音性

防犯ガラスはいずれもJISA4706(サッシ)の遮音性30等級をクリアする遮音性能があります。

安全・安心な防犯ガラスは、今お使いのサッシはそのまま、ガラスのみのお取替で使用できます。



一般の合わせガラスと異なるのは

2枚のガラス間に挟まれた膜が、
一般合わせガラスの場合が
PVC(ビニール)膜に対し、
防犯ガラスは樹脂膜を使用。
強くて、破りにくいことが特徴。



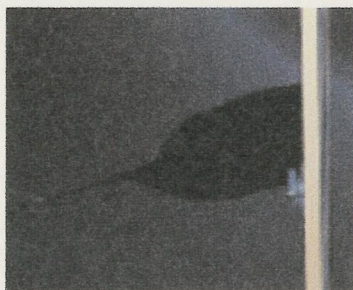
防犯ガラスの強度は樹脂膜の厚みによる。

EX セントラル硝子「ハイレンド」の場合

ハイレンド30	ガラス厚6.8mm	樹脂膜厚み:0.8mm
ハイレンド60	ガラス厚6.5mm	樹脂膜厚み:1.5mm
ハイレンド90	ガラス厚8.3mm	樹脂膜厚み:2.3mm



単板ガラスの破損状況



ガラスは簡単に破損してしまい、クレセント錠を外すことができるため、侵入が容易。

網入りガラスの破損状況



同様にガラスは簡単に破損し、クレセント錠を外すことができる。

網入りガラスは防犯目的で製造されたガラスではありません。網入りガラスは火災時における延焼を防ぐことを目的としており、使用されている網もガラス破損時における脱落・落下防止を目的としているため、強度的には単板ガラスと変わりません。



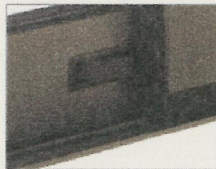
防犯ガラスの破損状況



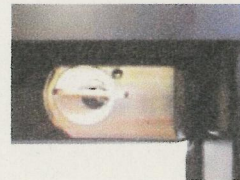
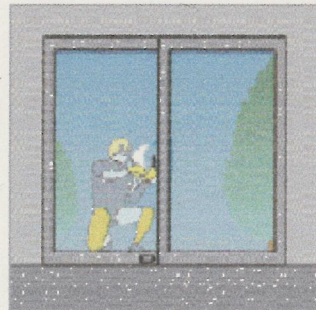
防犯ガラスは、ガラス破損時における貫通をさせないことを目的としています。
つまり侵入盗のあきらめる時間である5分を防ぐことが
防犯ガラスには求められています。



防犯ガラス+補助錠



「テラス窓サブロック」



防犯ガラスに更なる安心を頂くために、補助錠の使用をお勧めしています。
お使いのサッシにサブロックが装備されている場合は必ずお使いいただく。
ない場合は簡易的な補助錠をお取付いただくことが大切です。目的はガラス
貫通に要する時間を延ばすことです。



防犯フィルムと防犯ガラス



ホームセンターなどにも防犯フィルムは販売されており、ご家庭でも手軽に行える防犯対策としても人気があります。

防犯ガラスとの違いは、メンテナンス性と耐久性です。



ガラスにできること。ガラスにしかできないこと。

自然の光は健康のバロメーター